

平成 20 年度第 1 回京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議 議事要旨

日時：平成 20 年 7 月 14 日(月) 13:30～15:00

会場：川崎市産業振興会館 第 6 会議室

主な議事内容

1 新規参加事業所の紹介

- (1) 東燃化学株
- (2) 川崎オキシトン株

2 各部会の進捗状況報告

(1) 「パイプライン等の連携・活用による原料、副生成物、未利用溜分の有効活用」部会

- ・各社の持っているインフラ（パイプラインなど）活用を含めた副生成物、未利用溜分などの相互融通・有効活用などについて、アイデアを出し合い、出されたアイデアをテーマ別に整理し、課題、制約要因、優先順位、重要度などの観点から、整理し、とりまとめを行った。
- ・現在は、アイデアから具体的なプランに向けて話を進めていく段階。
- ・メンバーの出入りについては、今後の検討状況に応じて、柔軟に考えている。
- ・今後、プロジェクトを進める際には、マイルストーンチャートを各テーマごとに設定し、進捗状況管理を相互間で行っていく。

(2) 「石油残渣からのDMEの製造と高度利用」部会

- ・今後、余剰となる資源（石油残渣等）を利用し、クリーンな燃料であるDMEを製造し、地域での燃料として利用することを検討している。
- ・更に、製造したDMEをオレフィン製造原料として活用することも視野に検討している。
- ・これまで、事業となったときのイメージ、前提条件について検討してきた。
- ・今後、技術的な検討を進め、全体的プロセスを決めていきたい。
- ・また、おおよそのコスト、経済性、事業性、既存の立地場所でどのような要件が必要かなど事業としての可能性を検討する。
- ・今年度の終わり頃までに、さらに検討を進める価値があるかどうか見極め、事業としての可能性が大きい場合は次のステップへ進めたい。

3 今後の検討会議の進め方について

- ・計画のブレイクダウン、項目ごとのマイルストンの設定によるきちんとした進行管理を定期的に行う。
- ・検討結果について、成果として提供出来るものは、適宜、発表していく予定。

4 その他

- (1) 規約改正
- (2) その他
 - ・ 温暖化防止の取組みと県のインセンティブについて
 - ・ 検討会議活動の拡大について
 - ・ 取組みに対する県のインセンティブについて

以上